



彩北通信

月刊 No. 172
2021年6月1日発行
発行元：彩北進学塾
発行責任者：蓮 克彦

〒366-0827 埼玉県深谷市栄町 17-2



TEL 048-575-3291 E-mail: info@saihoku-juku.com

蓮塾長のブログ(彩北日記) ⇒ <https://ameblo.jp/saihoku-sj/>

中間テストの反省を生かして

中学1年生の皆さんは、中学校初めてのテストはどうだったでしょうか。思ったより簡単だったでしょうか。それとも想像していた以上に難しかったでしょうか。また、1度経験したことで準備の仕方や勉強の大切さを実感したかもしれません。何事も経験することでわかることがありますね。テストはテスト前も重要ですが、テストが終わった後はさらに重要です。終わったらおしまい、では今後にも支障が出てしまいます。必ずできなかったところを含めてやり直しをして分からないを溜めないようにしましょう。また、悪かった点は次回の期末テストで活かしましょう。

◎名言・一言

人一倍時間をかけたり、労力を惜しんだりしたことは
結果に表れる。
青島幸男(作家)

☆貴方に送る今月のおすすめ☆ 今月のおすすめは、音楽です

「音楽」 (東京事変) 6月9日発売

ドラマ『私たちはどうかしている』主題歌「赤の同盟」、映画『さくら』主題歌「青のID」、NHK総合ドラマ10『ドリームチーム』主題歌「闇なる白」を含む、10年ぶりのオリジナル・フルアルバム!

■最近のニュースから■



『小中学学力調査 6年度から電子化 埼玉県教委』

埼玉県教育委員会は14日、小中学生の学習の定着度を確認するために年1回実施している「学力・学習状況調査」について、令和6年度からタブレット端末などで受験する方式へ全面移行すると発表した。県教委は電子化の狙いに関し、グラフを立体的に動かすよう求める問題など、従来は困難だった形式の出題が可能になると説明している。

学力・学習状況調査は、さいたま市立校を除く公立小の4~6年、公立中の全学年を対象に実施している。電子化の課題を精査するため、県教委は9月、対象校の一部を抽出し、タブレット端末などで回答する方式の試験を児童生徒計約3200人を対象に行う。

県教委は電子化のメリットとして、出題形式の多様化のほか、子供たちが回答に要した時間などをデータとして蓄積していけば苦手分野が把握しやすくなることを挙げている。

一方、IT機器の操作に不慣れな子供の学力を正確にとらえることができない可能性もあり、高田直芳教育長は14日の記者会見で「機器の操作に慣れているかどうかで結果に差が生まれぬような設計を目指したい」と述べた。(竹之内秀介)

2021.5.14 産経新聞

▽勉強方法ワンポイントアドバイス▽



漢字で書こう

習ったことのある漢字はもちろんですが、習っていない漢字でも普段目にするものやよく使うものなどは常に漢字で書くようにしておきましょう。また、学習するうえで、漢字で書けるものは面倒くさいからといってひらがなで書いてはいけません。漢字は日常生活の中で使って勉強をしていくのが良いでしょう。

ご案内

彩北進学塾は、そろばん塾を併設しております。京大個別会そろばん塾ピコ深谷校です。年長さん・小学生を対象とし、勉強や受験に役立つ絶対計算力・暗算力を身につける右脳教育です。そろばんは算数だけではなく国語力もアップすることがデータで出ております。また、忍耐力や思考力などさまざまな良い影響を与える最強の習い事です。無料体験会実施中です。